

保育園における自己評価

A：大変良い C：一部検討する

B：良い D：改善を要する

令和4年度 明星保育園

項目	内容	評価	評価及び改善点
		ABCD	
人権尊重	① 子どもの人権に十分配慮しているか	A	人権についての研修を行っている。
	② 不適切保育は行われていないか	A	研修等を受け全職員で周知している。
保育目標	① 保育目標は、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	B	保育指針に則って乳幼児の実態と目標を設定している。
	② 目標は各施設や地域の特色を活かしているか	B	多様多彩な言語の学びや郷土文化ではエイサー等を遊びを通して学んでいる。
保育内容	① 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	A	保育指針などを参考にして作成している。
	② 保育指針に基づく援助、支援を適切に行っているか	A	保育指針についての外部を招いての研修をしている。
	③ 環境の構成を意識した保育や、課程を工夫しているか	C	環境づくりがまだ十分ではない。
	④ 素材、用具を適切に活用しているか	B	素材等、無駄にすることなく使うことが出来ている。
	⑤ 遊びや生活を通して人間関係が育つように配慮しているか	B	コーナー遊びや集団遊びのやり取りの中で出来ている。
日程	① 一日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか	A	発達に合ったデイリープログラムが作成されている。
健康管理	① 登園の際、子ども一人ひとりの健康状態を保護者から伝達され、担当クラスの先生は適切な対応を行っているか	B	朝は必ず先生が玄関でチェックを入れている。
	② 感染症への対応はマニュアルに沿って適切な対応を行っているか	B	マニュアルを確認取りながら対応できている。
	③ 感染状況等、保護者がわかりやすい場所に提示されているか	A	子どもの登降園時のタイムカードを押す場所の真横等を利用している。
	④ アレルギー疾患を持つ子どもの状況に応じて適切な対応（専門医の指示通り）を行っているか	A	医師の診断を基に除去食を行っている。
	⑤ 専門医による検診を行っているか、結果については職員や保護者に伝達し、保育にも反映させているか	A	年2回の検診や毎月園で行う身体測定の結果を保護者や栄養士にも伝え、食にも活かしている。
	⑥ 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応しているか	B	個々の発達の違いを把握し、一人ひとりに対応している。

項目	内 容	評価	評価及び改善点
		ABCD	
食 育	① 食事を楽しむ事ができる工夫をしているか	B	毎日の食材をわかりやすく子どもたちに伝えるよう写真（マグネット）で貼り出している。
	② 全職員は、食物アレルギーの子どもを把握しているか	A	厨房、クラスでの情報共有ができている（各クラスに掲示）。
	③ 食物アレルギーは個別に配慮し食事を提供しているか	A	テーブル、お皿、アレルギーの子どもが使用する物はわかりやすいようにしている。
保 育 環 境	① 子どもがくつろぎ、安心できるような保育環境作りに取り組んでいるか	B	子ども一人になる場面が見られる。不安になっている子どもにもっと寄り添うことが必要。
	② 四季折々な環境作りに取り組んでいるか	B	季節を感じられるように飾りや製作物を取り入れている。
特 別 支 援	① 支援保育に携わる者、支援を必要とする子どもを担当する保育士は研修を受けているか	A	園外研修、オンライン研修、巡回指導を受けている。
	② 支援が必要な子どもの保護者に適切な情報を伝えるための取り組みを行っているか	A	巡回指導に参加してもらい専門の先生から助言を聞いてもらったり、保護者との情報交換が出来ている。
保 護 者 支 援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え個別面談を行っているか	C	必要に応じて面談を行ったが、機会は少なかった。
	② 子どもの発達や育児について、懇談会などの話し合いの場に加え、保護者と共通理解を得るための懇談会を設けているか	C	コロナ禍のため控えた。
安 全 対 策 設 備	① 保育園内外、設備の安全点検を計画的に行っているか	B	目視チェックや直触手も毎日行っている。
	② 不審者などに対応する周到な配慮を行っているか	B	防犯カメラの設置や園全体で訓練を行っている。
	③ 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	B	伝達事があれば素早く保護者の見やすい場所に掲示している。
苦情 処理	① 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し迅速に対応しているか	C	保護者からの相談等是对応しているが、環境を多くしたい。